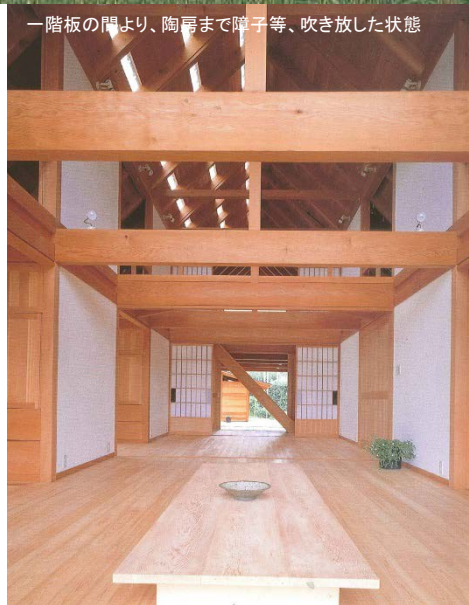




印旛の家全景(右:週末住宅、左:再生古民家)



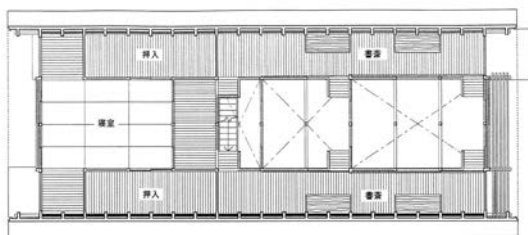
板の間より南庭を見る



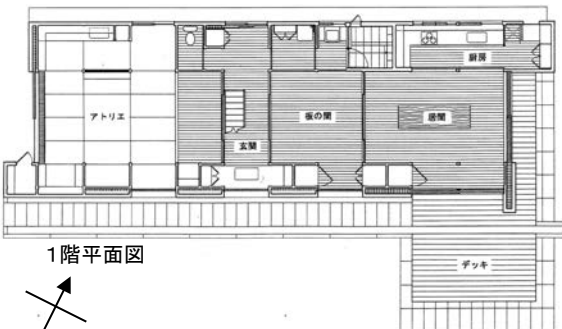
一階板の間より、陶器まで障子等、吹き放した状態



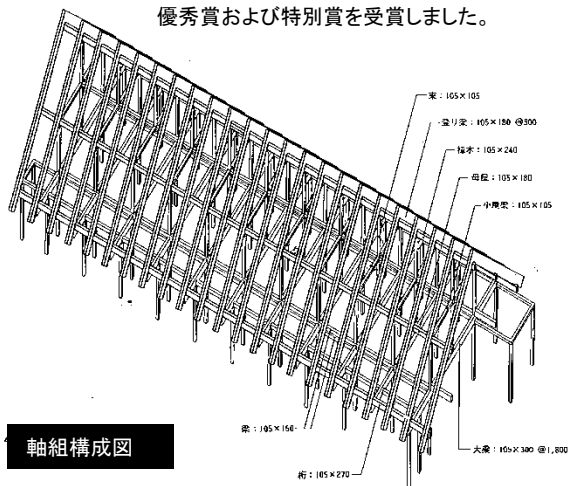
障子で間仕切られる吹き抜け空間



2階平面図



1階平面図



軸組構成図

●週末住宅「印旛の家」は、1998年に完成しました。古民家棟の離れとしてデザインし、伝統的日本の大工技術を生かしながら、景観調和と同時に経年変化の美しさも生きる自然木材と漆喰塗でまとめています。軸組み構造も基本的な構造の繰り返しとし、桁と梁を「わたりあご工法」としました。なお、この住宅は、2000年のアメリカン・ウッド・デザイン賞の住宅部門最優秀賞および特別賞を受賞しました。

【建築概要】

敷地面積: 1397.16㎡

建築面積: 191.77㎡

延床面積: 215.19㎡

建蔽率: 70%(15.79%)

容積率: 240%(19.41%)

●主な仕上げ

屋根: 燻し瓦(一部ガラス)

壁: 漆喰左官仕上げ

天井: 米松圧板張り

床: 檜縁甲板張り

陶房: コンクリート金鍍